



平成30年度熊本地方・家庭裁判所

インターンシップ（裁判所事務官・書記官）

実施結果報告書

平成30年9月20日、熊本地方裁判所において熊本地方・家庭裁判所インターンシップ（裁判所事務官・書記官）を開催し、23名の学生の皆さんが参加しました。インターンシップの様子や学生の皆さんの感想などをプログラムに沿って紹介します。

熊本地方裁判所事務局総務課
熊本家庭裁判所事務局総務課

業務説明

- ・法廷は書記官がいないと開廷できない・・・
- ・調書を作成する目的は・・・

オリエンテーション、裁判所の概要説明の後、裁判所書記官の業務や民事訴訟手続の概要について説明を行いました。



- ・裁判官は、書記官がその役割を果たすことで裁判に集中できる。

業務体験 ～民事模擬裁判、調書作成体験～

職員が実演する民事事件の模擬裁判を見学してもらい、調書を作成してもらいました。模擬裁判は、実際に民事事件を担当している裁判所書記官が解説を行いながら進行し、学生の皆さんは、メモを取りながら、熱心に聞き入っていました。模擬裁判後は、民事担当裁判官が、裁判官から見た書記官の役割や仕事内容についての説明を行い、学生の皆さんは、法廷の中に入って法服の試着、裁判官や裁判所書記官の席に座ってみるなど、みなさん興味津々な様子で、裁判所の雰囲気を感じていました。



▲民事訴訟手続の概要を説明している様子



▲職員による模擬裁判の様子

学生の皆さんの感想！

- ・大学の講義で学んだことと照らし合わせながら、民事裁判の実際の流れが理解でき有意義であった。
- ・実際の民事事件の裁判を見ているような感覚で勉強になった。
- ・裁判官や裁判所書記官の方々から異なった視点で民事訴訟手続について教えてもらったため、体系的に理解することができた。
- ・実際に自分で調書を作成して、裁判所書記官の仕事が責任のあるものだと改めて思った。やりがいを持って仕事に取り組むことができると感じた。

庁舎見学

昼食後の庁舎見学では、各階にどのような部署があるかを説明しながら、実際に職員が働いている執務室をご案内し、職場の雰囲気を感じていただきました。

・家庭裁判所の書記官はどんな仕事をしているの・・・？

業務体験 ～家事模擬調停，調書作成体験～

家庭裁判所での書記官業務体験では、離婚手続を題材として、調停前の裁判官との打合せや模擬調停を見学してもらい、申立書の審査及び調停が成立した際の成立調書の作成事務を体験してもらいました。



▲家事調停手続の説明をしている様子

学生の皆さんは班に分かれて、グループで検討しながら、調書の作成を行いました。皆さんからは、家庭裁判所の裁判所書記官の事務に関する質問が出るなど、非常に熱心に取り組まれていました。



▲申立書の審査の様子



▲調書作成体験の様子

学生の皆さんの感想！

- ・民事の裁判所書記官とは全く違う業務内容で、やりがいがあると感じた。
- ・民事事件とは違う魅力を見つけることができた。
- ・民事事件と家事事件の双方の業務を体験して、その違いを直接知ることができ裁判所書記官の仕事を理解することができた。



・和光市にある裁判所職員
総合研修所ってどんなところ・・・？

座談会

最後は各グループに職員が加わり、座談会を行いました。和やかな雰囲気の中で、学生の皆さんからは、裁判所に関する様々な質問があり大盛況のうちにインターンシップを締めくくることができました。

学生の皆さんの感想！

- ・少人数のグループで、職員の方も優しい雰囲気だったので、質問しやすかった。
- ・裁判所職員のリアルな声を聞くことができ、インターネットで調べるより詳しく裁判所の仕事を理解できた。
- ・裁判所に対する堅いイメージがなくなり、不安や心配がなくなった。
- ・裁判所の職員について理解が深まり、さらに興味がわいた。
- ・もともと裁判所を目指しているが、より勉学に取り組むことができそうである。
- ・職員の生の声やアドバイスを聞くことができ、より裁判所職員を目指そうという気持ちになった
- ・裁判官、書記官、事務官が互いに連携してチームで仕事をしているという点に魅力を感じた。